

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休み)
午前 9:30～午後 3:30

No.206 2015年1月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
富山県身体障害者更生相談所内
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086
発行責任者 澤本 光廣
編 集 坂田 祐美
定価 50 円(会費を含む)

笑う門には福来たる

事務局長 澤本 光廣

新年明けましておめでとうございます。会員皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日頃より、本会の運営につきまして、各般にわたる格別のご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今年は未年、「未」を動物にあてはめると「羊」になります。羊は群れをなし、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。

このことから、本会は羊に習い、強い組織力で会員皆さまの暮らしと健康を守る運動を強力に推進して参ります。

ところで、皆さんの初夢や元旦の計はどのようなものだったでしょうか。「笑う門には福来たる」ということわざがありますが、これは、笑いの絶えない家庭や身のまわりには、病気や思いもよらない災いなどを寄せつけないというように理解されています。

このことは、医学的な裏付けもあるようです。常日頃より元気に話したり、笑ったりしている人は病気に対する「免疫力」がかなり高いそうです。さらに免疫力を高めるには、① ストレスをためない、② 適度な運動、③ 栄養バランスの良い食事、④ 質の高い睡眠をとることに心がけることが効果的だとされています。元気な声で話をし、快活に行動することには、お金がかかりません。いわばタダで健康が手に入れられるのです。

ところで、私達をとりまく環境は、衆議院選挙の結果、与党の圧勝で、難病患者の公平・平等の原理原則から腎疾患患者にしわ寄せのないよう、羊のようにより多くの群れとなし、われわれが安心して生活していけるよう、全国の仲間が一丸となって、患者会組織を充実させ、実効性ある運動を展開していく必要があります。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで実り多い年となりますよう心よりご祈念申し上げます、年頭のあいさつと致します。



障害年金の等級見直しの動き

腎疾患の障害年金の認定基準に関する見直しについて、12月8日に開かれた第4回専門家会合は、前回の会合で厚労省から示された▼人工透析療法施行中は2級、▼長期透析による合併症の有無とその程度等によってさらに上位等級に認定、▼腎臓移植を受けた場合術後1年間は従前の等級とする、等を最終案としてとりまとめることを了承し、夏からはじまった議論が終了しました。

今回の見直しでは、この他に eGFR(推算糸球体濾過量:血清クレアチニン値、年齢、性別から計算)による基準が特例として導入される見込みで、クレアチニン値が低くても透析が必要な場合など、透析導入前の状態が評価されるものと期待されます。

最終案は、今後行われる意見公募(パブリックコメント)で公開され、一般国民から広く意見を募った上で、新しい基準が施行されることになっています。



難病医療費助成制度について

今年1月から新たな難病・小児慢性特定疾病の医療費助成が始まります。対象疾病が夏までに56から約300へ拡大され、自己負担限度額が変わります。

今回から助成対象となる110疾病(指定難病)に、腎疾患からは「IgA腎症」と「多発性のう胞腎」が入りました。症状が軽く身体障害者手帳が取得できないこれら原疾患の非透析患者にとって、これまで20歳を過ぎると医療費の負担を軽減する国の公費負担医療制度は何もありませんでした。それだけに今回の新制度は大きな朗報といえます。

新しい制度で助成の対象となるのは、症状が一定以上であることが原則とされていますが、症状が軽い場合であっても、高額な医療(医療費総額が月3万3,330円を超える月が年間3回以上)を継続して受けることが必要であれば助成の対象になります。



平成26年度第二回北越ブロック会議

11月29日(土)・30日(日)福井県の勝山ニューホテルにおいて、福井県9名、石川県3名、新潟県4名、富山県4名が参加し開催されました。

1日目は、水本全腎協専務理事による全腎協理事會報告に次いで在宅透析の会員体験談があり、その後、各県活動報告、災害時の対応、勉強会・研修会の取り組み、臓器移植推進キャンペーン等について協議しました。

2日目は全腎協が取り組んでいる課題や通院送迎について協議した後、ドナー家族の講演を拝聴し2日間の会議を終えました。

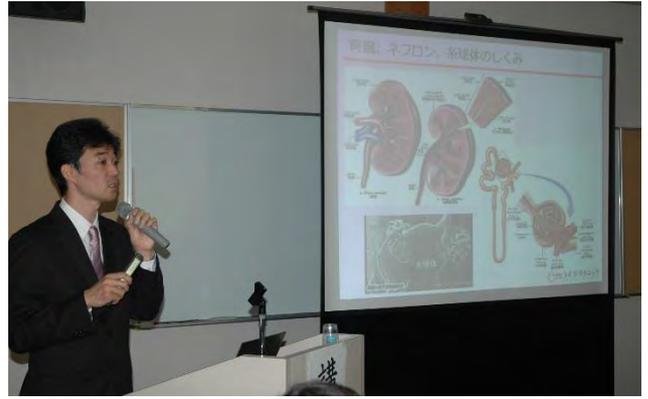


糖尿病・腎臓病講演会

12月7日(日)富山県民共生センター サンフォルテで開催した講演会には患者、家族など約60名が参加しました。(共催:協和発酵キリン(株)、ニッショク(株))

講演会では、うさかクリニック 院長 鍵谷聡志先生が「糖尿病について正しい知識を身につけましょう～あなたの腎臓を守るために～」、富山市民病院 栄養科 科長 中嶋和代先生が「糖尿病の食事について～透析予防のために～」と題しそれぞれお話頂きました。

参加者からは、「難しい言葉は説明があり、一般人にも理解しやすかった」「自分の状態を把握する良い機会になった」「最新の情報も紹介され参考になった」等の感想が寄せられました。



高岡地区 透析食調理実習

12月7日(日)高岡市ふれあい福祉センター調理実習室において開催され、16名が参加しました。



今回も厚生連高岡病院の管理栄養士さんお二人に、塩分を控えるポイントなどをご指導いただき、「牛肉ときのこの風味満点ソテー」、「白菜と春雨サラダ」、「大根の甘酢漬け」、「いちごゼリー」、「ティラミス」の5品を作りました。

国会請願署名・募金について

毎年会員の皆様にご協力いただいている署名、募金は腎臓病患者の医療や生活を守るためにとっても大切な活動です。

請願書をまだ提出されていない方は、1月中でも間に合いますので、一人でも多くの署名をよろしく願いいたします。

今後の予定

- 全腎協3回理事会 1/10~11 東京
- 第30回理事会 2/22 富山市総合社会福祉センター



その他の報告

■ クリスマスパティー(12/14)

カナルパークホテル富山において開催された青年部主催のパーティーには、会員、家族17名が参加し、お互いの治療や腎友会活動について話し合うなど交流を深めました。

■ 富山県透析・腎移植研究会(12/18)

富山県移植推進財団、協和発酵キリン(株)等が主催する研究会が富山電気ビルディングにて開催され、医療関係者はじめ腎友会会員など約50名が出席しました。

研究会では、最近の腎移植の現状、県内の先行的腎移植検討例等について医師あるいは移植コーディネーターから報告があったほか、名古屋第二赤十字病院 移植外科 副部長 後藤憲彦先生による特別講演も行われました。

おくやみ

- 福岡 登 殿 富山城南温泉第二病院 享年64歳
- 加納 七郎 殿 河合内科医院 享年82歳
- 山上 孝 殿 あさなぎ病院 享年84歳
- 白川 茂 殿 市野瀬和田内科医院 享年85歳
- 中川 恭一 殿 厚生連高岡病院 享年79歳
- 荒井 市郎 殿 厚生連高岡病院 享年76歳

謹んでご冥福をお祈り致します